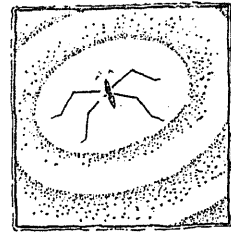


自由遊び (二)

ふじの譯



米國東テキサス州師範大學の練習學校長ピツケット、同大學幼稚園長テニラルテイ、ホーレン著幼兒教育の或部分を譯したのである。吾々幼稚園關係者小學校初學年教師の參考となることか甚だ多いと思はれるから特に本誌に掲載する。

自由遊びの最後の型は、朝中、自由遊びとなつた場合であります。こゝでは子供達はしたいと思つたなら何でもしていいのです、先生は子供にとつていい刺戟を興へる所の材料を子供が見つけ得る所によく様に氣をつけます。又子供が或る仕事に對して真に興味を持つて來た時には、興へられた時間内にそれを成就せねばならないとは限らないのです、朝中その仕事をしてもいいのです。若しも満足な結果が得られない時には子供達は他の仕事をしてもいいのです、例へどんなに多くの時間を要するとも、彼がその仕事なり經驗なりに満足するまでは幾時間でも費させていいのです。

自由遊びの時、先生は、子供達がいろんな事をするその仕方や、又子供が撰んだ材料や又は解決した事柄試した事柄、及び子供達相互の交渉等を靜に觀察しながら、子供の後ろの方にゐなければなりません。

ん。手傳つてくれと云はれた時には手傳つてやらねばなりません又どんな事をしても皆な失敗する時のみ色々と教へてやらねばなりません。ほゝ笑んだり、頭を撫でたり賞めたり、又は勇氣をつける様になづいたりしてやりさへすれば良い時もあります。子供達が、仕事について先生から干渉を受けるのは、不正直な事をした時とか喧嘩をした時とか又は非社會的な活動をした場合のみであります。

アニタとメリーの二人の女兒はお家を建てました。メリーは大變我儘な子でお人形さんのお皿をみんな占領してしまひました。それでアニタがそのお皿を少し取つたところがメリーは大變に不平に思ひ先生に告口をしました。アニタは我儘ではありませんので直ぐ、二三枚返しましたそれでもメリーは満足しませんのでアニタはみんな返してしまひました。之を見てゐた先生は、メリーに向つてメリーさん自分ばかりお皿を取つてしまふのは公平な事でせうかとききました。メリーはいやくながらも仕方なくそんな事するのは公平でないと云ひました。そこで先生はアニタにメリーさんの持つてゐるお皿を、分けて貰つてもいと申しました。

自由遊びの時には、子供は自分で面白いと思ふ事であるならばどんな仕事をしてもいいのです。作業でも、遊びでも、觀察でも、或は本や繪を夢中になつて見てゐてもいいのです、或る幼稚園では、こういう風に保育案が拵へられてゐるので、毎朝の初めの時間は、働いても又はお外で遊んでいいのです、彼等の室には、子供らしい興味をそゝるあらゆる材料が備へられてゐます、そして之等の材料を用ひて少

しの干渉も暗示も受ける事なく反應する事が出来るのであります。テーブルの上にはお話の本や繪本が置いてあります。他の机の上には圖畫の道具が一切揃へてあります、小さい仕事師達は之等の準備の中から自分の好きなものを自由に取つていゝのです。又廣い廊下で積木をしてもいゝのです、こうした自由の中で課せられてゐる只一つの條件は、之等の材料を使ふであらう時、又よく氣をつけるであらう時正しく元の所に返して置くであらう時にのみ取り出していゝ、と云ふ事なのです。お室には又遊び道具が備へられてございますお人形、ボール、汽車、鐵製の玩具、おもちゃの動物、船、旗、又は自由自在にいろんなものを作る事の出来る積木だけの。

然るに或る意味に於て子供の遊びには、差し控へると云ふ様な事がある様に思はれます。何故なら彼等は子供らしい方法でもつて、大人の日々の生活を再現してゐるのでありますから。或る日曜の朝數人の子供はお人形のベッドに奇麗なシーツをかけてゐました、又家の中のいろんなお道具を整頓してゐました、床拭きなどもしてゐました。それから一人の女の兒は赤ちやんを寝かしつけ様とてまじめな顔して寢室に座つてゐました。この間二人の他の女の兒は靜に淑女らしく居間の方に座つて居りました。こゝうゆう遊びは實に没入全私の生活でございます。

自由遊びの時には子供達は子供ながらの現實の世界に生きるのてでございます。子供は時々おまゝごとを致します、テーブルを正しく置いたり等するのでこの遊びは思ひがけない良い訓練を興へますし又多

くの家政の業の練習となります、或る朝一人の男の子が女の兒に僕の奥さんになつて下さいと云ひました、女の兒が承知しましたので二人は積木のお家を建てました。それから他の男の子や女の子に、僕達の子供になつて一緒に住まないかと云ひました。お人形は赤ん坊でした。お母さんが子供達を學校へ出す爲に着物等を着せてやる間お父さんはお守をしました、子供達が學校へ行つてしまつた後でお母さんはお皿を洗つたりテーブル掛をなほしたりお皿をしまつたり床を拭いたりしました。その中に赤ちゃんは病氣になつて大變に泣きましたのでお父さんはどうする事も出来ませんでした。

「お母さん、早く来て赤ちゃんをだつこして下さい」とお父さんが云ひました、お母さんは直ぐ飛んで来て赤ちゃんをだつこしました。するとお父さんは大急ぎで電話口のところへ行き交換手呼び出しました。「四五六番もしくゝあなたは先生ですか？ あ、うちの赤ん坊が病氣でございますからなるべく早くゐらして下さいお願いいたします。サヨーナラ」

お醫者は早速来て赤ちゃんを診てこう云ひました。「百日咳です。御病氣が治るまでこのお薬をお上げなさい」

この遊びに於ては、模倣と經驗が有力な要素であります。子供達のこうした遊びはこうゆう事を示します、即ち「遊びの衝動は如何に周圍に適應し易いものであるか、遊びの衝動は子供の周圍に行はれてゐる活動から如何に影響されるものである、又遊びとして模倣したり實行したりする活動は、如何に後

の生活に於て、個體と種族の保存の爲に重大な作きをなすものであるか」と云ふ事を。

時々子供は、周囲の下品な粗暴な事を模倣いたします、彼等は時々人さらいごつこをしようとしています。或る朝數人の子供が遊んでゐました。その中で二人の子供はどろぼうでした。そして何かを盗まうとしてそつと家の方へやつて來ました。又女の兒は私は人さらいよ、と云つて、子供をさらつて或家から出て行かうといたしました。先生はこの様な遊びを止めたり、導いたり、又はこんな遊びはくだらないと云ふことを子供に知らせる様にしなければなりません。

屢々遊びは手際を樂しむ爲になされます。子供は自分でいろんな事をしたがります。彼等は砂箱の周りに立ち箱やバケツに砂を一杯入れます。そして直ぐにそれをあけたり、又は指の間から滑らしたりいたします。或時はお砂の中に指を突込みます、少し年とつた子供等は濕つた土を欲しがります、そしてたゞそれをいぢつて冷々するのを悦びます、又一見、何も目的を持たない様に見える遊びにこうゆうのがあります。それは黒板へ釘を打つことです。之は槌を打つリズムカルな音をきいてして見なくなつたり又單にしたくてむづ／＼するものであります。

子供達は屢々動物の役をいたします。犬の様に吠えたり、あひるの様にグワツ／＼云つたり、猫の様にニャー／＼ないたりいたします、或朝犬の遊びをしてゐた四つの子供は吠えながら他の子供を捕へ様として四つ這になつて床の上を跳び廻つて居りました。その中の一匹の犬は、後になつてバスケットを

口にくわへて肉を買ひに行き、それを家にある母犬に運ばうといたしました。

「The kitten and the Bow Wow」の歌は幼稚園の子供の大的お氣に入りです。或る日この歌を歌つた後で一人の兒がこの遊びをしませうと云ひ出しました。みんなが一緒に歌つたりニヤ／＼ないたり吠えたり致しましたので見てゐて大層面白うございました。調子が合ひませんでしたし、又あんまりがや／＼してゐますから少しピアノを弾かずに落ちつくのを待つてゐるとよかつた等と、私共大人は、一寸惜しい様な失敗した様な感じを持ちましたが子供達にとつてはこんな事は何でもないらしく一向に平氣な様子でした。

又或る朝數人の子供は曲馬をしようかと相談して居りました。彼等は高い垣の代りとして一列に椅子を並べました、この上を象になつた子供は飛ぶのでございました、或る女の兒が「あなたは一等高く飛べるから象がいゝわ」と云ひましたので或る子は象になつたのです。すると他の子供達は象は高く飛べるもんかと云つて前の説に反對いたしました、そしてその垣を越えた子供は象でない他の動物兎でも馬でもなる事にしようかと云ふ事にしました、このドラマテックな遊びは發表のしかたを學ぶ爲に又自分達になつた動物についての精密な觀察をさせる爲に大變に良い遊びでした。

この垣の問題は曲馬の案をたてる時や動物の生活についての色々な事を計畫する際の出發點として良いねうちのあゝいゝな材料を含んでゐます、併し子供達は時々之等の遊びを家を、建てる問題に代

へてしまひます、何故なら彼等は曲馬をする前に家を建てなければならぬと云ふことを皆で相談して決めますから。家を建てる時には遊びの衝動は、いろ／＼な材料を取り扱つたりいろ／＼な經驗をしたりする作きに代ります。初めに子供は海狸の皮の四角なのを持つて來て屋根を置かうといたします。そしてその一方を窓の敷居の上にのせ、他方を床上積木で支へます。彼等はしばらくの間壁を拵へ様といたしますがどうしても出來なくて遂に斷念してしまひます。

家を建てたり等してゐる中に、彼等は曲馬の事をすっかり忘れてしまひます。之は子供の興味は變り易いものであると云ふ事を示す好い例であります。